

事業の名称	～都市と地方をつなぐ～ 旧平戸藩松浦・平戸のサーキュラー・エコツーリズムと地域回遊促進事業
名称	一般社団法人平戸観光協会
団体の活動状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年3月31日国が推進する観光地域づくり法人(DMO)へ登録され、令和6年3月31日には登録が更新された。</li> <li>・平戸市DMO推進事業補助金による観光振興及び国内外セールス</li> <li>・観光施設維持管理補助金による施設清掃維持管理</li> <li>・平戸市観光案内業務委託による観光案内所運営管理</li> <li>・平戸港交流広場管理業務委託による駐車場管理</li> <li>・市内特割宿泊キャンペーン事業委託による宿泊需要喚起対策等</li> <li>・国内旅行取扱い及び平戸市内の着地型旅行商品の企画販売(第3種旅行業)</li> <li>・ふるさと納税やネット販売を通じた平戸製品のPR・普及活動</li> <li>・指定管理者制度による指定管理の受託「観光交通ターミナル」</li> <li>・平戸市地域商社事業を受託</li> </ul>

プランの骨子	<p><b>1. 事業概要</b>          大自然の恩恵を受けた旧平戸藩地域の観光産業、1次産業で発生する廃棄物増大による自然環境問題、地球温暖化等の懸念に対する「サーキュラーエコノミー」(観光で使用されるエネルギー資源、各種資源の再利用により資源不足による高騰化等を防ぐなどの取組)を通じて社会課題に触れ、理解し解決策を考えるスタディツアーを造成する。合わせて令和7年度開業予定の「アルベルゴ・ディフゾ(AD:地域内水平分散型ホテル)」の認証獲得後、地域回遊の足回りとしてもエコを意識したバイオディーゼル燃料の活用を中心に、ツアー参加者をHirad Sustainable Tourist(HST)として参加プログラム数に合わせて認定し、持続的なコンテンツの維持、販売の仕組みづくりに取り組む。</p> <p><b>2. 造成、取組する観光コンテンツ</b>          本事業では、大自然に囲まれた平戸で起きている環境問題に焦点をあてたスタディツアー+ガイド育成を実施</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①【基盤】バイオディーゼル燃料をクルージング用の船舶の重油と混合使用。また、レンタサイクル(eバイク)充電用発電機の燃料や協会が扱うカーシェアの燃料に使用し、クルージング・eバイク・カーシェアを循環型に変更</li> <li>②【基盤】バイオディーゼル燃料精製方法、燃料利用クルージング・eバイク等の環境負荷低減効果の見える化</li> <li>③【1】域内宿泊施設・飲食店から収集の天ぷら油を精製したバイオディーゼル燃料を活用した施設見学ツアー</li> <li>④【2】農業者と漁業者のコラボにより実現している、平戸夏香を使用した養殖魚の利用プロジェクト見学ツアー</li> <li>⑤【3】野菜シート(捨てる野菜)製造の農業・工場見学体験、野菜シートによる平戸おにぎり、廃棄する食材を使った循環型名物料理、夏香フリなどを野菜シートで巻いた磯辺焼きのメニュー等開発</li> <li>⑥【4】ガソリンを使用しないレンタル電動カートを導入した観光地移動ツアー、点在するビーチのごみ拾いツアー</li> <li>⑦【5】総合的に平戸来訪観光客のサーキュラーエコノミーへの貢献度を認定する、スタディツアー展開</li> </ol>
--------	--

事業活動地域(地図等で具体的に表示)

・松浦地域、平戸地域でのエコ・ツーリズムの展開  
 ・平戸市城下町エリアでのAD域内移動

・令和7年度の松浦IC～平戸IC間の新規開通により、福岡方面からのアクセス交通の利便性が向上。これを機に旧平戸藩として地域の繋がりがある松浦地域と平戸地域との連携事業として、高速道路を利用する際に排出されるカーボンオフセットを意識した、持続可能なサーキュラー・エコツーリズムを推進する。

・将来の佐々IC～平戸IC間、及び伊万里東府招IC～山城久原IC間の開通を見据えて、主に福岡方面から九州北西部へのアクセス交通のディステーションとなる旧平戸藩地域をPRするとともに、高速道路利用のカーボンオフセットを体感するスタディツアーの展開を地域一体となって図る。


